

2017年08月29日  
株式会社 KADOKAWA**書籍・コミックのレビューサイト「ダ・ヴィンチニュース」が大幅リニューアル**

株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹）は書籍・コミックのレビューサイト「ダ・ヴィンチニュース」を大幅リニューアルし、読みたい本・コミックに出会えるポータルサイトとしての機能を強化いたします。電子書籍の普及にも対応すると同時に、キャッチフレーズを新しくするなどイメージの一新を図ります。

**ダ・ヴィンチニュース** 読みたい本がここにある

新しい「ダ・ヴィンチニュース」のキャッチフレーズは「読みたい本がここにある」。出版文化全体の盛り上げ役としてさらに成長するため、ここにアクセスすれば面白い本やコミックが見つかるサイトへ、そしていよいよ普及してきた電子書籍のセール情報まで「出版物に関するすべて」を網羅するサイトへと、大幅リニューアルいたします。

**●作家をはじめとするインタビューコンテンツの拡充**

作家はもちろん、編集者や書店員など作品関係者へのインタビューコンテンツを拡充。作品が生まれた背景や世に知られるまでの苦労など、作品が十倍面白くなる関係者の声をお届けします。

●絵でわかる文芸“コミカライズレビュー”

テキストだけでは難しいと敬遠されがちな文芸作品を、主要なシーンをコミカライズし、文芸になじみの薄い読者にも、コミック化を通して文芸作品の味わいを身近なものにしてお届けします。

●雑誌編集長コラム

自身が発行する雑誌読者のことを一番よく知っている各雑誌の編集長コラムを開始。『コロコロコミック』（小学館）編集長 和田誠氏、『レタスクラブ』（KADOKAWA）編集長 松田紀子氏など、読者を通じた編集長視点での「今」を語ってまいります。

●電子書籍のセール情報コーナーを大幅拡充

Amazon.co.jp（Kindle）、楽天（楽天 Kobo）など大手プラットフォームを中心に電子書籍のセール情報を定期的に発信し、スマートデバイス等で本を読む習慣のある読者へのニーズに対応します。

●デザイン一新、目的のコンテンツをより探しやすく

ウェブサイトになじみのある煩雑さを排除し、初めての方でも見たいコンテンツに簡単に辿りつけるデザインを採用。ストレスなく自分に合った本やコンテンツに出会えます。

「読者にはもちろん、書籍・コミックの情報を読者に届けたいと考えている出版社、取次、書店、電子書店など、本や電子書籍に関わるすべての方に喜んでもらえるような『本・コミックとの出会いの場』を提供できるサイトに成長させていきたいと考えています。」（ダ・ヴィンチニュース運営責任者：大家 太）

<ダ・ヴィンチニュースとは>

ダ・ヴィンチニュースは2011年9月に『ダ・ヴィンチ電子ナビ』として、電子書籍のレビューを専門的に行うサイトとして誕生。当時の電子書籍の利用状況を鑑み、2014年1月には『ダ・ヴィンチニュース』と名称を改め、紙の書籍やマンガの楽しさを伝えるレビュー、出版関連ニュースを中心にあつかう現在のスタイルに。2017年8月現在ではスタート時のほぼ10倍、最大2300万PV/月に成長を遂げている。

『ダ・ヴィンチニュース』

<https://ddnavi.com/>

プレスリリース送付先：mf-davinci@ml.kadokawa.jp

以上